

■大河内伝次郎 伊藤大輔監督のもと{日活}時代劇の大スターとなり、<敗戦>後の{新東宝}誕生に寄与後も活躍。

おおこうちでんじろう

子規句歌革新1898＝ 福岡県上毛郡大河内村で、蘭方医の家柄大辺晋の五男に生まれる。母アキは中津藩儒の娘。

母の影響で、幼時から、熱心な仏教信者となり、

日露戦争終・1905＝7歳：

韓国反日暴動1907＝9歳：

アソビ創刊・1908＝10歳：父が死去。長兄が医業を継ぐも、親戚の事業の保証人となって、失敗し没落。

合河小学校高等科2年の時、中津の薬問屋の養子となっていた四兄に預けられ、中津の南部小学校に転校。

明治天皇没・1912＝14歳：

大正政変・1913＝15歳：卒業後、大阪の二兄のもとに行き、大阪商業学校に入学。

兄の仕事を手伝い、夜は新聞社の発送業務のアルバイトしながら、

民本主義・1916＝18歳：

本格政党内閣1918＝20歳：卒業し、東京の大手食品卸業(明治屋)に勤務、

やがて、**沢田正二郎に憧れ**、

原敬首相暗殺1921＝23歳：

護憲三派圧勝1924＝26歳： **堺の民衆劇学校に入学。関西巡業に来た沢田の指導を受け、その縁で{第二新国劇}の舞台に立ちながら、**

治安維持法・1925＝27歳：**草創期の{マキノ・プロ}の映画に初出演**

日本時代始・1926＝28歳：***日活へ入社、生地由来する芸名名乗り、「長恨」に出演、以来12年間に約100本の映画に出演。**

金融恐慌・1927＝29歳：**不朽の名作「忠次旅日記」に主演、**

共産党事件・1928＝30歳：**「新版大岡政談第1話」、以後、丹下左膳を当たり役とする。**

世界恐慌・1929＝31歳：浄土真宗本願寺派の寺の住職の娘と見合い結婚。

海軍軍縮条約1930＝32歳：「大岡政談魔像編」などで、

伊藤大輔と不朽の名コンビをうたわれ、尾上松之助に次ぐ日活時代劇の大スターとなる。

満州事変・1931＝33歳：その他、内田吐夢監督「仇討選手」。***当時長期保存が難しかったフィルムに永く消えることのない美を追究するため、小倉山の南東面に2haもの土地を確保し、自身で設計した大河内山荘の庭の造営を始める。**

国際連盟脱退1933＝35歳：山中貞雄監督「盤獄の一生」「鼠小僧次郎吉」、

帝人疑獄事件1934＝36歳：

芥川直木賞始1935＝37歳：稲垣浩監督「大菩薩峠」などがある。

日中戦争始・1937＝39歳：**日活から東宝へ移り、**

魁偉な容貌で悲劇的人物を演ずることが多く、走るシーンの迫力が名高いが、飄逸な役柄をも好演した。

日米開戦・1941＝43歳：

「ハワイ・マレー沖海戦」「わが青春に悔なし」などの現代劇にも出演。

創価学会検挙1943＝45歳：

敗戦・1945＝47歳：

新憲法公布・1946＝48歳：***東宝争議の際には長谷川一夫らと“十人の旗の会”を結成し、**

新憲法施行・1947＝49歳：**新東宝誕生のきっかけとなる。**

三大事件・1949＝51歳：大映に移り、

独立回復・1951＝53歳：

マーチン事件・1952＝54歳：

自衛隊発足・1954＝56歳：最後の丹下左膳主演。

なべ底不況・1957＝59歳：さらに、東映に移るなどしながら、

無数の作品に出演し、時代劇の渋みのある名脇役として死の前年まで活躍。

***映画出演料の大半を注ぎ込み、30年の歳月をかけてこつこつと作り上げた大河内山荘を遺して、**

安保闘争・1960＝62歳

タイタイ病始・1961＝63歳：

全国総合計画1962＝64歳：長女の結婚式の際、東京で倒れ、胃癌で、**没した。**